

公表

事業所における自己評価総括表 《放課後等デイサービス》

○事業所名	ほっとルーム倉敷			
○保護者評価実施期間	令和 6年 9月 1日 ～ 令和 6年 9月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	71	(回答者数)	71
○従業者評価実施期間	令和 6年 9月 1日 ～ 令和 6年 9月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・高校生まで利用可能で成長に合わせたニーズに対応し、継続した支援が受けられること。	・様々な年齢の子どもが同じ活動を行い、役割を持つことで、協調性を養っている。	・年代に合わせた支援の方法やプログラムを、より充実させていく。
2	・利用者との関係性作りを大切にしており、一緒になって遊びを楽しんだり、どの指導員とも話しやすい環境を心がけている。	・グループワークや余暇活動には指導員も一緒になって取り組み、日々の様子の变化に気づけるようにコミュニケーションを取っている。	・個別の活動でもゆっくり話したり、相談しやすい環境を整えたりしていく。
3	・療育としての学習を取り入れており、SLDなどでの困りごとにも対応している。	・個別活動での困り感や特性に合わせた学び方やトレーニングを行っている。	・支援方法について今後も職員間で共有・改善を続けていき、より専門性を高めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援スペースが限られているため、粗大運動などの活動は難しいこと。	・建物の構造上、利用人数に対しての広いスペースがないこと。	・安全面を考慮した上で、屋外での活動を取り入れる取り組みが必要。 ・部屋を分け、少人数に分かれて活動しスペースを確保する工夫が必要。
2	・駐車場が少ないこと。	・利用時間が放課後に集中し、送迎時間が重なっていること。	・送迎の時間を分散させたり、職員が車誘導を行ったりする工夫が必要。
3			